

# 総合教育会議（第2回）会議録

1 開会年月日	令和4年2月10日（木） 午後5時17分
2 場 所	笠岡市役所 市長室
3 出席委員等の氏名	笠岡市：市長 小林嘉文 教育委員会：教育長 岡田達也 教育委員 石井 啓弐, 藤谷 幸弘, 山下 敬広, 東山 琴子
4 欠席委員等の氏名	なし
5 会議に出席した者の職・氏名	教育部長 石田 輝宏 教育総務課長 松尾 千鶴 学校教育課長 山川 達也
6 議事案件及び会議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 小林市長 岡田教育長</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 笠岡市教育大綱について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、教育部長から「笠岡市教育大綱」が令和4年3月に計画期間が終了するため、令和4年度から令和7年度の4カ年の計画を新たに策定すること、基本理念は「学ぶ楽しさ、輝く個性、生き抜く力」とし、現在の基本理念と同じにすること等の説明を行い、意見交換を実施。</li> <li>・基本理念を説明する文章を5行ぐらい加え、わかりやすくする。</li> <li>・今回は基本理念と補完する文章という形で教育大綱を策定する。</li> <li>・笠岡の市民を幸せにするために、学校の教育、家庭の教育、そして地域の教育をするという思いを表現できるような文章を記してほしい。</li> </ul> <p>⇒ 文章の案を作成して、教育委員にメール等で意見を伺うようにする。</p> <p>(2) 小中一貫教育の推進の経過報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設一体型一貫校の令和8年開校に向けての理解を得るための、金浦中学校ブロックでの説明会の状況、保護者向けに発信する「リーフレット」の作成、令和3年度から始まった試行期間の取組状況等について報告を行い、意見交換を実施。</li> <li>・笠岡の学校が今後こうなるという「リーフレット」なので、一体型一貫校のことについて、特徴的に入れるようにする。</li> <li>・「リーフレット」は、一体型一貫校になるならならぬに関わらず、全保護者に配布する。</li> <li>・一体型一貫校は、金浦中学校が一番最初となるので、令和4年度は、小学校の乗り入れ授業を専科授業的な形にして、見える化を図り、どこがどう違うのかがよく分かるような形でやっていると考えている。</li> <li>・笠岡の教育の大きな欠点として、分散しているということがあり、そのためにコストアップにつながっているが、それがなかなか見えてこない。例えば、ALTの先生が六島小学校に毎週1回行っているということは、その子にとっては素晴らしいことであるが、全体の公平性やバランス等から考える必要もある。</li> </ul> <p>⇒ 生徒1人であれば、オンラインを活用できそうである。 不公平感がないように見直しをし、来年度のALTの配置については、全体のバランスを見ながら検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの先生について、その力量や使い方、授業展開等様々であると思うので、採用する時はきちんと面接をしてほしいということと、マニュアルを作らないといけないということを指摘しているが、どう考えているのか。</li> </ul> <p>⇒ 今の契約では、派遣会社が採用試験を行うので、市が面接というのは難しいが、派遣会社が定例</p>

的に設けているALTの研修に市の担当者も参加し、学校の要望等を伝える機会があるので、より充実させていく。

- ・「笠岡市の英語教育はこういう英語教育です」「笠岡市のALTはこういう風に活用しましょう」という笠岡市内の英語教育のマニュアル化を進めないといけない。
- ・コロナ禍で、濃厚接触者や接触者となり、自宅待機をしなければいけない子ども達が増えているが、ICTを活用して、いくら家で勉強しても、タブレットを使って授業に参加しても、出席扱いにならないため、国に要望していくための体制づくりをし、しっかりと訴えていかないといけない。

### (3) タブレットの活用状況について

- ・授業の中で使うことがかなり定着し、家庭学習にも使うという意識がかなり広まってきていること、タブレットを毎日持ち帰りしていること、インターネット環境がない家庭の問題等について報告を行い、意見交換を実施。
- ・活用が現実に進む中、大きな学校では1割・2割ぐらいの家庭が、その他の学校では数件ぐらいの家庭が、まだインターネット環境が整っていない状況にある。また、保護者のスマートフォンをルーター代わりにしているため、保護者が家にいない時にはインターネットにつなぐことができないという家庭もあることを聞いており、引き続きルーターの貸し出し等の対応をする体制をとっている。
- ・貸し出し用のルーターについては、通信費は保護者負担になるが、常時100台ぐらいある。緊急時の貸し出し用に通信費込みで契約しているものが10台程度ある。
- ・タブレットは毎日持ち帰ることを基本としている。家庭に使えるパソコンがある場合には、タブレットを持ち帰らなくても、クラウドに入っていけば、同じ環境を得られるようになる。
- ・4月から全てのタブレットをクロムブックに変更する。不要となるウィンドウズ系機種については、学校の校務用として、あるいは、学童や公民館等で活用することが可能かどうか等確認する。
- ・ネット環境の整備が必要な放課後児童クラブについては、準備をしないとけない。環境を整えば、学校と放課後児童クラブとの連続性が生まれる。

### (4) 学校規模適正化について

- ・「今井小学校・笠岡小学校との統合に関するアンケート」結果等について報告を行い、意見交換を実施。
- ・今井地区の1年生から4年生までと未就学の家庭（30世帯）を対象としたが、未就学児の2世帯から辞退の申し出があり、対象が小学校家庭20、未就学家庭8、そのうち、小学校家庭17、未就学家庭6、28世帯中23世帯から回答をいただいた。回答の内訳は、令和5年度の統合について賛成が15、反対が8であった。
- ・賛成の理由として多かったものは、「今後の今井小学校の児童数の推移を見た時にやむを得ない」、「複式になることが不安である」、「大勢の友達と一緒に学校生活をスタートさせたい」、「笠岡小学校も落ち着いて授業ができていて、安心した」等の意見があった。
- ・反対の理由として多かったのは、「子どもが行きたくないと言っている」、「交流の取り組みと毎日一緒に生活するという事は、子ども達にとっては別物のような印象を受けた」、「家から遠くなる」、「現在の今井小学校の教育環境に大変満足していて、それを継続したい」等の意見もあった。
- ・賛成の立場の方からの要望は、「我が子が入学するまでに統合を済ませておいて欲しい」、「スクールバスの安心・安全の確保」、「公民館活動も含めて交流活動の充実」等の声があった。
- ・反対の立場からの要望は、「統合よりもまず、今井地区に人が増える方法を市として考えて欲しい」、「今井小学校を卒業させてやりたい」等の声もあった。
- ・賛成・反対両方の立場から、「とにかく早く結論を出して欲しい」、「笠岡小学校の問題のようなネガティブな問題についてもオープンに伝えて、市全体で解決に向けて取り組んで欲しい」等の意見もいただいた。
- ・昨日、教育長から今井小学校の保護者に、アンケートの結果報告と、「令和5年度統合に向けて、これからしっかり取り組んでいく」という方針を説明させていただき、特に異論の声は上がらず、昨日の会は終了した。


- ・地域の方に説明した後に、プレス発表等の公表に向けたスケジュールを伝えた。今日この後、役員の人に内々で伝えて、18日に地域の説明会を、21日の月曜日にプレス発表をする予定で、議会には、議長・副議長、総文協委員長・副委員長には、来週内々ということで伝えて、議会全体にはプレス発表の前日に流したら良いかと思っている。笠小の保護者にもプレス発表の前日に伝える予定である。
- ・笠小に今井が吸収合併されるイメージではなくて、一緒になって1つの学校を作ることを大前提として、交流を行う。ウェブは週に教科を決めてすること、体験活動や社会見学等の行事的なものは一緒にするような段取りをすること、月1回は各学年が授業で交流できるようにしたい。
- ・今は全てが順調に行っているので、プログラムのようなものを作って、どんどん進めていって欲しい。ここでブレーキがかからずに、新年度からいろいろな交流も増やして、できるだけ笠岡小学校の方から出かけた方が良くと思う。
- ・今井小学校の保護者への説明会などに参加し、保護者の負の感情が、だんだんとゼロになりプラスになり、すごく前向きに考えて下さる方が増えてきたと感じた。風通し良く、不安なく、笠岡小学校で今井小学校の生徒さん達がスタートできるようにしていただけたら良いと思う。
- ・アンケートの中に「教育委員会に対する信頼性」のところがあったが、言いにくいことをきちんと伝えていけば、相手もちゃんと全て話してくれていると感じると思う。その上で、失敗とかいろいろな問題に対してどうやっていくかを誠実に伝えれば、わかっていただけでも多いと思うので、今後、それも含めてやっていただけたらありがたいと思う。
- ・確かに面と向かって同じ空間で説明をすることはとても大切で、おそらく今井小の経緯にもその効果が出たのではないかなと思うが、例えば、金浦の統廃合の件に関して、説明会等に参加できないという方もおられると思う。それで、実空間でなくて、タブレットとオンライン等を活用することも1つの新しい視点として今後取り組んでいただければ、より多様な意見が入ってくるのではないかなと思う。


4 閉会年月日


令和4年2月10日(金) 午後6時41分


上記会議のてんまつを記録し、関係図書を添付して、その相違のないことを証するため、署名押印します。


令和4年 4 月 22 日

笠岡市長 小林嘉文 

教育長 岡田肇也 

教育委員 石井啓弐 

教育委員 藤谷幸弘 

教育委員 山下敬広 

教育委員 東山琴子 